

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般レストラン （店長）	来客数の動き	・入学、卒業、就職などのお祝いで、大変多くの家族連れが来店しているが、どの顔も明るく、客の中から若年層の就職も次々と決まっているという話も聞かれた。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・広島市内周辺郊外部に大型ショッピングセンターが相次いで開店したこともあり、客のフットワークが2月から軽くなったと感じられる。直接販売には結び付いていないが、客の動きがある。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	お客様の様子	・教科書などの動きとともに、店内の人の動きも、高校生を中心に良くなっている。
		一般小売店〔100円商品〕（店員）	お客様の様子	・客の様子、また、販売量、単価の動きからも、少しずつ上向いている。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・一部婦人服や新商品の動きは良くないが、ヤングブランドや化粧品、特選雑貨については非常に動きが良く、また他の高額商品の動きも良くなっている。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・例年の季節商品主力のリクルートやフレッシュアズのスーツ需要は、就職難も重なり前年をかなり下回ったが、近郊百貨店の開店により、これまでにない、夕方のミセス層を中心とした来店客が見込めるようになり、結果としてカジュアル商品の動きが良く、景気もやや上向いてきたと感じる。
		百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・市内百貨店のリニューアルオープン、郊外ショッピングセンターの新規オープンに伴い、市内および郊外への買い物客が増えているとともに、県外からの来店者も増加している。来店者は購買意欲があり、何かしら購入している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価も、以前より若干良くなり、一人当たりの買上点数も、若干ながら上向いている状況である。
		スーパー（店舗運営担当）	販売量の動き	・今春は、例年のような就職進学シーズンの買い控えの傾向がほとんどなく既存店ベースでも順調に推移しており、来店客数が103%と増加傾向にあるとともに、販売量はそれ以上の105%に増加した。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客の財布のひもが固くなって久しく、それが当たり前の状況であったが、最近ではこちらから商品の良さや販売したいものを勤めると、購買に結び付いてきている。競合店や長時間スーパー等の影響で引き続き厳しさは残るものの、わずかだが景気回復の兆しはみえている。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	お客様の様子	・フレッシュマンを中心に来店があるが、以前のように低価格志向の客は少なく、一通りそろそろセットで、4万円から5万円のものを購入している。
		その他専門店〔贈答品〕（店員）	来客数の動き	・3か月連続して、出産お祝いに対してのお返し物が伸びており、結婚式の引き出物関係も好調である。
		都市型ホテル（従業員）	単価の動き	・レストランで追加料金のチョイスメニューの売上が伸びている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・近郊で大型店舗の新築、改装が相次ぎ、それに伴う人の流れが多く、宿泊、レストラン関係が好調である。
		設計事務所（職員）	販売量の動き	・依然として個人住宅向けマンション、1戸建住宅の新築が多く、それも早期に販売できている。また、個人向け建築屋からも忙しいと聞いている。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場、現場見学会等において、以前よりも客の反応がやや良くなっていると感じられる。来場者も1割増である。		
変わらない	一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・来客数はあまり増加しておらず、店頭陳列や店頭特売品は、よく手にとってもらえるが、店内まで足を運ぶ客は減少した。	
	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・全体の売上は、さらに悪くなっているが、各種イベントに多数参加することにより、売上を維持している状況である。 ・イベント主催者の話によれば、イベント自体の売上は低下している。	

百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・新生活、リクルート、卒入園関連の商品の動きが非常に悪い。いずれも、価格が大きな切り口になっている傾向がうかがえる。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・ミセス衣料は、前年比100%で推移しているが、ヤング衣料が、夏物シフトによる春物不足もあり、前年比の90%で推移している。店舗全体では、前年比95%の見込みである。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・BSE、鳥インフルエンザによる輸入規制、客の肉類に対する不安、不信感、また国産牛の値上がりで年度末の決算特売にも影響が出ている。
スーパー（店長）	単価の動き	・来店客数に変化がないが、依然として、特売品の販売数の減少など、買上点数、単価の減少が続いている。
スーパー（店長）	単価の動き	・客数は前年比103%、販売点数は前年比102%と伸びているが、買上単価が、前年比96%とここ2年間連続で低下しており、売上は前年比以下になった。
スーパー（店員）	単価の動き	・総額表示の対応に追われ、店内では3月後半から総額表示を開始したが、値上げや便乗値上げをしたのかと、客から勘違いされている。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客は安い商品を求められており、お店の定番商品は動かない。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数、販売高ともに前年を大きく上回っているが、競合店対抗の要因が大きく、実際に主食類の販売量は数か月前と比べ伸び悩んでおり、上向きの要素はまだ見えにくい。
衣料品専門店（店長）	単価の動き	・季節柄、フレッシュマンの来客数は増加したが、一般客の来客数、単価は厳しくなっている。
衣料品専門店（販売促進担当）	単価の動き	・単価が下がったせいか、売上は若干落ち込むが、客数は伸びている。 ・気候が不安定のため、冬物と春物を同時に買う客が多い。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・生鮮品高騰により食費がかさむため、電気製品は、必要なもの以外は買わないという客が多い。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・2月は、客の動き、販売量とも好調に推移したが、3月に入り、前年よりは若干堅調に推移しているが、苦戦を強いられている。
乗用車販売店（総務担当）	単価の動き	・依然として、大型車、中型車の受注が伸びていない。 ・サービス部門においても、車検等の価格が低い。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・受注件数が前年比90%で推移しており、依然新規受注が少なく、台替需要も少ない状況が続いている。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・隣接するデパートで大規模なりニューアルがあり、その相乗効果から集客アップが図れたが、全チェーン店では2桁ダウンの店が3分の1もあり、依然厳しい状況である。
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前と比べると、客の人数、販売量、販売単価など全て上回っている。
旅行代理店（経営者）	単価の動き	・前年と比べ状況は好転しているが、単価が低くなっているため、売上はやや悪い。
旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・SARS、テロ、鳥インフルエンザの影響が、なくなってきた。
タクシー運転手	販売量の動き	・NPOによる輸送介護の拡大のせいか、3月初めには、前年比10%以上減少したが、現在は前年比3%減まで回復した。
タクシー運転手	お客様の様子	・歓送迎会の時期だが、期待したよりも客の動きが悪く、悪い状態で推移している。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・加入契約数がここ数か月の実績から低下したままであり、かつ解約も増加しており、純増加数が低迷したまま推移しており、増加の兆しが見えない。
その他レジャー施設 [温泉センター]（営業企画担当）	単価の動き	・日帰り温泉部門は、動員数で前年を上回る日が増えてきており、温泉ホテル部門も、前年の微増を確保しつつありほぼ順調に推移している。しかし団体から個人の中心の利用になってきていることから、客単価は思ったより伸び悩んでいる。
美容室（経営者）	販売量の動き	・客の動向として消費が増加傾向にあるが、依然として単価等は上がっていない。
設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・発注件数が大変少ない。

	住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・住宅ローン返済のための先行収入の不安のため、住宅の購入にちゅうちょする顧客が目立つ。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街来街者も半年前から引き続き少なく、来店者も少ないが、各個店の売上は若干上がってきている。	
	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・隣接する百貨店のリニューアル及び大型ショッピングセンターオープンのため、客の流れが急変している。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・現在出店しているショッピングセンター全体で、客数が、特に土日の集客を中心に、前年比90%と落ち込んでいる。より大きなショッピングセンターへ客が流れている。	
	家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・総額表示を前倒して実行したためか、若干売上が落ちている。	
	住関連専門店（広告企画担当）	単価の動き	・来店者数、契約数ともに変化は無いが、単価の低下が止まらない。特に、新築をした客の買替購入金額をみると、以前は気になるアイテムをまとめ買いしていたが、単品毎の買い替えにとどまっている。	
	その他専門店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・客単価が10%から15%ほど下がっている。	
	その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	来客数の動き	・良いプロモーションを企画すれば客数は伸びていたが、その影響力が薄くなってきている。特に春休みの出足が悪い。鳥インフルエンザ以降、食への不安感が増している。	
	ゴルフ場（営業担当）	単価の動き	・ゴルフ場業界では、単価を下げれば来客数は伸びる状況にあるが、現在下げ止まりの状況であり全体として苦しくなっている。	
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・一時的な冷え込みのせいか、客の動きが悪いことから全体の動きも悪い。	
悪くなっている	スーパー（店長）	競争相手の様子	・大型店出店により、競合状況が激化した。 ・総額表示の影響で、一品単価も下がってきている。	
	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・3月は大学生の新入学、社会人の異動など、単身者向けの最大の需要期であるが、今期は過去最低の実績である。前年大幅ダウンであり来月にも大きく影響することは間違いない状況である。転出、転入共に激減している。	
企業動向関連	良く なっている	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・設備能力限界まで受注が入っている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・主要顧客の一部生産ラインは活況を呈しており、生産が追い付かない部品が出ているため、主力ラインの臨時休業を実施する。 ・決算月で例年活況の3月ではあるが、3か月前との比較では受注量は増加し、前年同月比においても20%の受注量の増加となっている。
	やや良くなっている	建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・民間工事の発注、特にデベロッパー関係の発注が増加し始めている。
	金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・新車の販売好調を背景に、生産水準が高水準を維持しており受注量は総じて前年比プラスで推移している。コスト削減要請が厳しく受注単価は低下しているが、増収増益基調は維持している。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・個々の単価という面から見れば厳しさは相変わらずだが、仕事量の面から見れば結構忙しい事業所が多くなってきている。建材メーカーによっては、一部材料の供給が間に合わない所も出てきている。また、不動産業界においては、大手デベロッパーが優良地を積極的に購入する動きも出てきている。	
変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・先月から大きな変化は無い。社内は全般に高稼働であるが、物流費の高騰による原材料、燃料費高が影響し利益が上らない。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・積極的な受注活動により注文を獲得でき、また需要の好調により生産量は引き続き高水準である。	
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼需要は、中国を中心に輸出が堅調である。国内需要においても造船、自動車、産業機械などの輸出の好調を受けて需要が高まりつつある。	

	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今期の売上は昨年と比べ、やや少なくなるものの、利益面ではやや上回る見込みで、減収増益の状況である。
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・国内及び海外向け自社製品の売上が好調で、残業が増加している一方、国内での仕入れ商品の売上は依然として厳しい。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・海外販売は好調だが、国内販売には明るい兆しが見受けられないため、当社のように国内販売製造に限定した生産工場は非常に苦しく、状況は以前と全く変わっていない。
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上量だけでなく同業者の競争激化に伴い、厳しい状況である。
	通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・法人向け通信サービスの利用動向は、割高感のある専用線から安価なVPN（仮想専用線）へという流れが変わらず、通信業界は引き続き厳しい局面にある。特にブロードバンドインターネットの普及は、品質第一であった通信サービスが低価格路線に転換した要因になっている。
	通信業（社員）	受注量や販売量の動き	・平成16年度の売上目標額は決定したが、状況は更に厳しいものとなっており、3か月前と変わらない。客からの受注量の増加は見込めず、むしろ横ばいもしくは減少傾向にある。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・第3セクターの会社が企業誘致の実績を上げることができず今月倒産したことは、相当額の補償倒れが懸念されることから、県下に及ぼした影響は大きい。
やや悪くなっている	コピーサービス業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・年度末に官公庁に係る受注が増加する傾向にあり、この時期の受注量により決算が左右される状況であるが、前年と比べ受注量が減少している。
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・3か月前と比べ、水揚げ数量で2,177トンの減少、水揚げ金額でも1億8,420万円の大幅減少となっており、減少理由は、沖合底引き船、巻き網船、定置網漁、イカ釣り漁が減少したためである。 ・2月単月前年比においても、水揚げ数量で1,920トン、55%減少、水揚げ金額で、9,327万円減少、82.2%減少であり、理由は中型巻き網船、沖合イカ釣り漁が減少したためである。
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（支店長）	雇用形態の様子 ・求人数自体は引き続き多い。特にサービス業（流通・フード）では、以前からアルバイト・パートを求める声が多かったが、正社員の求人が増加してきた。
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（広告営業担当）	求人数の動き ・求人数の増加に比例して、1社当たりの求人広告費も徐々に増えている。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き ・求人数は卸売業、小売業、製造業を中心として引き続き順調に増加している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子 ・県外へ新規出店計画のある各種食料品小売業の事業所から、まとまった求人募集があったほか、電気機械器具製造業において新規開発商品向けの増産の動きがある。
	変わらない	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き ・業績の回復により、求人依頼など、企業からの問い合わせ件数が増えてきている。
学校〔大学〕（就職担当）		求人数の動き ・年度末の駆け込み求人が続いており、例年よりも多い。	
職業安定所（職員）		求職者数の動き ・食料品など製造業の中には、一部に求人が大幅に増加した業種があるものの、全体としては横ばいで推移しており、内容も欠員補充の求人が大半を占めている。 ・求職者数が、あまり減少していない。	
民間職業紹介機関（職員）		採用者数の動き ・地場中堅の製造業では、取引先企業が中国に進出した分だけ仕事が減少しているため、退職者数の数より採用者数が少なくなるように抑えている。	
	学校〔短期大学〕（就職担当）	採用者数の動き ・3月中旬に卒業した卒業生の就職内定率は中国地方の平均を下回っており、依然として厳しい状況が続いていることには変わりはない。卒業を控え、正社員の求人が少ない現状に、やむを得ず臨時的、期間限定的、嘱託的な職業に就いた卒業生も数多く、景気の好転が感じられる材料は乏しい。	

やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-